



母乳育児が思うようにできなかつたお母さんへ

母乳育児がご自分の希望していたように、またはうまくできなかつたように感じているお母さんもいるでしょう。

母乳育児がうまく行かない要因はその母子それぞれで、様々です。例えばお母さんや赤ちゃんに何らかの病気があったなどで、母乳をあげられない場合もあります。また、施設の方針などで赤ちゃんとお母さんが別々の場所で過ごす状況だったことも要因として考えられます。

今、日本の妊婦さんの9割が自分たちの赤ちゃんを母乳で育てたいと考えているのに対し、産後1カ月の時点で、母乳だけで赤ちゃんを育てているお母さんは約4割と報告されています。残りの約6割のお母さんは人工乳を使用しています。ところがUNICEF/WHOが認定する「BFH（赤ちゃんにやさしい病院）」でお産をしたお母さんの約8割が産後1カ月の時点で赤ちゃんを母乳だけで育てているとも報告されています。これは施設の母乳育児支援の方針によりお母さん達が受けるケアが異なることを示していると考えられます。

もしかしたら、施設の方針等で十分なケアを受けることが出来ずに自分の体質で母乳が出ないと感じているかもしれません。または、なんらかの事情で人工乳を選択し、母乳育児が思うようにできなかつたと感じているかもしれません。



栄養方法で、育児や赤ちゃんを思う気持ちに優劣は誰にもつけられませんが、落ち着きにくい赤ちゃんを抱っこし、散歩し、あやし、心配した夜もあつたでしょう。赤ちゃんに母乳をあげようと奮闘したこともあつたでしょう。胸に抱っこしてもらうことは赤ちゃんにとっては幸せなことです。

これまでのあなたと赤ちゃんの道のりは、大切な物語です。十分頑張つてこられたと思います。どうぞ今までの時間を大事にしてください。張ばと思います。

そして、もし今後あなた自身もしくはあなたの周りで困っている方に、この本に書いてあることを思い出していただき、お話ししていただければと思います。

Q

母乳と人工乳（ミルク）の混合栄養となっているが、これから母乳だけにすることは出来るのか？

A

赤ちゃんを母乳だけで育てたいと考えたなら、地域の「母乳の会」あるいは母乳育児を支援している開業助産師さんに相談してみてください。人工乳をあげている回数やお母さんのおかれている事情など、赤ちゃんとお母さんの1組ずつの状況によって支援の方法が異なるので、母乳育児をめざす意志をもって相談されるとよいでしょう。